

「話のたねのテーブル」より

斑入になったオランダミミナグサ

植村修二

ヨーロッパ原産であるオランダミミナグサ *Cerastium glomeratum* Thuill は、春の季節、人が活動する地域であれば、どこに行っても積雪がないかぎり見ることができるといえます。北海道や日本海側にも広く分布していて、シロツメクサ、ヒメムカシヨモギと同様に全国制覇した数少ない帰化植物です。

私の勤務校の圃場（大阪府堺市美原区）にも、たくさんオランダミミナグサが生えていて、実習で畑の除草をしました。引き抜くと根が途中で切れるイヌガラシや、土が根にいっぱい付いてくるアオスズメノカタビラなどと違ってオランダミミナグサは、いっしょに生えているホトケノザと同じように根が浅く抜きやすいので、生徒たちは

これらの雑草ばかり抜いてくれます。

写真左は通勤途上、大阪府堺市の路傍で見つけた、枝の一部が斑入になったオランダミミナグサです。前任校（大阪府池田市）でも、除草作業中に黄緑色の斑が少し入ったオランダミミナグサを見つけたことがあります。

斑入が生じやすい科というのがあるようで、イネ科、キク科とならんで、ナデシコ科をあげることができます。

コハコベ、イヌハコベといった帰化植物のほかカーネーション、セキチグサ、ダイアンサスと総称される園芸植物（写真右）でも斑入の個体を見つけています。

（話のたねのテーブル No.219 より）



▲斑入りになったオランダミミナグサ（左）とダイアンサス園芸種（右）

公益財団法人日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 (03) 3832-4188 (代)
FAX (03) 3833-1807
<http://www.japr.or.jp/>

編集人 日本植物調節剤研究協会 理事長 小川 奎
発行人 植調編集印刷事務所 元村 廣司

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 (03) 3833-1821 (代)
FAX (03) 3833-1665

平成25年7月発行定価 525円 (本体500円 + 消費税25円)
植調第47巻第4号 (送料270円)

印刷所 (有) ネットワン